

# 平成22年度 国立赤城青少年交流の家 企画事業等計画一覧

No	事業名	期間	対象	募集人数(人)	事業のねらい
1	指導に活きる「あかぎアドベンチャープログラム(AAP)」セミナー ～仲間づくりの指導方法を学んでみませんか～	6.12(土)～6.13(日) (1泊2日)	教職員・青少年教育施設職員・青少年団体指導者・青少年の研修担当者・地域リーダー等でPAに興味のある指導者	25	青少年教育に関わる学校や地域活動の指導者が、PA(プロジェクトアドベンチャー)の手法を活かした「AAP(あかぎアドベンチャープログラム)」を体験し、プロセスを大切に支援者としての資質向上を図ります。
2	【文部科学省委託事業】 ボランティアスタートアップセミナーinあかぎ ～踏みだそう 新たな自分への第一歩～ (申請中)	7.3(土)～7.4(日) (1泊2日)	社会人・学生(大学生・短期大学生・専門学校生等)でボランティア活動に興味・関心のある方。及び長期自然体験活動の指導者としての支援活動に興味・関心のある方	20	ボランティア活動に必要な知識・技術の習得や活動の場を提供し、広く社会の様々な場面で自発的な活動のできるボランティアを育成します。 学校長期自然体験活動を支援する際に留意すべき事項や必要な知識等を学ぶ場を提供し、自然体験活動指導者としての資質の向上を図ります。
3	あかぎフォレストステイ体験隊 ～感じよう! 大自然, 考えよう! 地球の未来, 7日間のエコキャンプ～	8.17(火)～8.23(月) (6泊7日)	前橋市内 小学校第4～6学年児童	30	長期のキャンプ生活を通して、赤城山麓の自然の雄大さと素晴らしい景色を感じるとともに、身近な環境問題について体験活動を通して気づき、その解決のための実践力の基礎を育みます。
4	【教員研修センター委託事業】 平成22年度環境教育指導者養成研修	9.28(火)～10.1(金) (3泊4日)	都道府県・指定都市・中核教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにそれに準ずる方、小学校・中学校・高等学校・中等教育学校並びに特別支援学校の校長・副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭及び教諭	80	本所がこれまで構築してきた人的資源や環境教育プログラム、環境教育の進め方のノウハウなどを提供し、学校での環境教育を推進できる指導者の養成、および学校等での環境教育の普及を目指します。
5	【ボランティア養成事業】 ボランティアスタートアップセミナーinあかぎ ～伸ばそう 高めよう あなたの「ボランティア力」～	10.2(土)～10.3(日) (1泊2日)	独立行政法人国立青少年教育振興機構登録ボランティア及び青少年教育施設においてボランティア活動の経験のある方。学校長期自然体験活動の指導者として支援活動に興味・関心のある方	20	ボランティアのスタートアップのために必要な研修を行い、青少年教育施設が行う企画事業・研修支援事業等におけるボランティアの指導力を高めます。 学校長期自然体験活動を支援する際に留意すべき事項や必要な知識等を学ぶ場を提供し、自然体験活動指導者としての資質の向上を図ります。
6	【文部科学省委託事業】 「自然体験活動指導者養成研修」 (申請中)	11.20(土)～11.23(火) (3泊4日)	小学校の長期自然体験活動の全体指導者として活動・協力する意志のある方(20歳以上)	20	「小学校の1週間の自然体験活動」において、教育効果の高い自然体験・生活体験の機会を提供するために、プログラム計画立案の助言、関係機関・講師の紹介といったコーディネート、活動時の全体指導や活動の様子の把握と助言、事業評価の助言などを行う指導者を養成します。
7	【文部科学省委託事業】 「青少年体験活動フォーラム」 (申請中)	12.4(土)～12.5(日) (1泊2日)	青少年教育行政担当者、青少年教育施設職員、学校教育行政職員、学校職員、青少年団体指導者、集団宿泊活動受入地域関係者、民間教育事業者、その他青少年の体験活動に関心のある方	100	青少年の体験活動の関係者が一堂に会し、青少年の課題に対応した体験活動の事例研究、ワークショップでの体験や情報交換等を行い、青少年教育指導者の資質向上を図ります。
8	青少年自立支援者のための研究交流フォーラム	2.11(金)～2.13(日) (2泊3日)	青少年の自立支援者及び自立支援に関心のある社会人・学生・高校生	100	青少年の自立支援に携わる人(発達障害者や社会不適応者、外国籍児童生徒などの社会適応に取り組んでいる支援者)、及び自立支援に関心を有する人を対象に開催する。先進的事例紹介及び協議、支援者としてのスキルアップ研修、課題解決に結びつく(情報の提供・交換および参加者の事例発表などにより、自立支援に関する資質や支援方法の向上を図るとともに、参加者間での連携の構築を目指します。
9	あかぎ多文化共生推進プロジェクト ～つたえよう自分 わらう友達～ (調整中)	通年	外国人子女 (学齢児童生徒)	20	教育関係諸機関との連絡協力の下に、外国人子女の日本語習得及び日本社会の文化・習慣の理解促進をねらいとして、体験活動プログラムを開発・実践します。
10	森林再生活動体験プログラム ～交流の森創造プロジェクト～	通年	幼児、小学生、中学生、高校生、学生(大学生・短期大学生・専門学校生等)社会人	500	松枯れにより荒廃した施設周辺の林野を、水源涵養機能の高い森林にするための植林や下草刈り、枯松材を利用した炭焼体験、土壌改良のための炭の散布等の森林再生プログラム体験を通じ、日常生活をふりかえる機会とするとともに環境意識の高揚を図ります。
	少年少女自然体験交流事業	6.25(金)～6.28(月) (3泊4日)	ミクロネシア諸島の小学校5年生～中学2年生相当の子ども	30 引率:6人	太平洋諸島の子どもたちを日本に招聘し、自然、異文化及び同世代の人々との交流などの体験活動を行い、子どもたちに自然のすばらしさ、共存することの大切さを学ぶ機会を提供することにより、子どもの体験活動の重要性について普及・啓発を図ります。